

## 第4回 燕市都市計画マスタープラン策定委員会 会議録

### 1. 日 時

令和4年8月3日（水）10:00～12:00

### 2. 場 所

燕市市民交流センター 多目的ホール

### 3. 出席者（敬称略）

#### 【委員】 9名

|                                   |        |
|-----------------------------------|--------|
| 長岡技術科学大学 准教授                      | 松川 寿也  |
| 新潟工科大学 教授                         | 樋口 秀   |
| 燕市自治会協議会 会長                       | 田邊 一郎  |
| 燕商工会議所 副会頭                        | 藤田 進   |
| 吉田商工会 理事                          | 小林 理恵子 |
| 分水商工会 女性部副部長                      | 本田 裕美  |
| 新潟かがやき農業協同組合 経営管理委員               | 酒井 喜代太 |
| 一般社団法人燕市観光協会 会長                   | 山崎 悦次  |
| 公益社団法人新潟県宅地建物取引業協会<br>西蒲・燕支部 副支部長 | 横山 正憲  |

#### 【オブザーバー】 2名

|                |       |
|----------------|-------|
| 三条地域振興局 地域整備部長 | 上村 康司 |
| 三条地域振興局 農業振興部長 | 佐藤 孝明 |

#### 【事務局】 6名

### 4. 次 第

1. 開会
2. あいさつ
3. 協議事項
  - (1)昨年度のふりかえり・今年度の予定
  - (2)地区別構想（案）
4. その他
5. 閉会

## 5. 議事概要

### 1. 開会

事務局より開会のあいさつ

### 2. あいさつ

(松川委員長)

- ・皆さんお疲れ様でございます。長岡技術科学大学の松川でございます。久しぶりの委員会の会議ということで、第4回燕市都市計画マスタープラン策定委員会の開催に当たりまして一言ご挨拶を申し上げたいと思います。
- ・本日は何かとお忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。昨年度に引き続き都市計画マスタープラン策定委員会の第4回の会議ということで、少し間が空きましたけれども、前回の第3回の会議は新型コロナウイルス感染症の影響もございました、書面開催とさせていただいたというところです。前回の第3回の委員会では全体構想の分野別の方針の内容をご理解いただくとともに、中間とりまとめとして文書にまとめたものをご確認いただいたというところでございます。
- ・今回の委員会では、地区別構想の案についてご協議をお願いしたいと思っております。なお、地区別構想につきましては、現行のマスタープランでは13あるまちづくり協議会ごとに区分してございますが、今回の改定では都市のコンパクト化に向けて都市機能の集約が必要であるというところから、各地区の中心点を核としたまちづくりを行うために、燕地区・吉田地区・分水地区の3地区に区分をして検討を進めていくと事務局よりお話を伺っております。
- ・委員の皆様には3地区それぞれの特徴も加味しながら、ご活発なご意見をいただきたいと思っておりますとともに、様々な視点からご意見、ご提言を頂戴いたしまして、有意義な策定委員会となるようご協力を賜りたいと思っております。
- ・以上簡単ではございますけれども、開催に当たりましての挨拶とさせていただきます。

### 3. 協議事項

#### (1) 前回のふりかえり

事務局より配布資料「1. 昨年度のふりかえり・今年度の予定」を説明。

- ・意見なし

#### (2) まちづくりの理念と将来像

##### ① 燕地区

事務局より配布資料「2. 地区別構想（案）2-1 地区別構想の概要、2-2 燕地区」を説明。

(松川委員長)

- ・では燕地区の地区別構想の内容につきまして、ご意見を頂戴したいと思います。いかがでしょうか。

(藤田委員)

- ・地場産業のブランド振興と観光強化について。私の所は金属加工をやっていますが、ちょうど昨日東京から来たお客さんがラーメンを食べたいと言われて、杭州飯店に行ったらすごい列で、コロナ禍でありながらも駐車場は県外ナンバーが半分以上でした。燕は特に背脂ラーメンや、ラーメンだけでない食に携わる色々なものがあると思いますし、我々は食を絡めた道具をいっぱい作っているのです、是非とも観光に「食」を入れていただければと思います。

(事務局)

- ・ご意見ありがとうございます。全体構想の際にも食を絡めた観光といったようなお話を頂いておったところですので、地区別構想の方でも燕地区の背脂ラーメンを代表とする地域の食材、食の関係についても書き加える形で検討させていただきたいと思います。

(樋口委員)

- ・13ページの「住みたくなる魅力的な居住環境づくり」の1つ目のところに「まちなかの居住促進」とありますが、白山町において空き家跡地を面的に開発分譲した実績もみられるというのは非常に魅力的な取り組みのように思いますが、どんな概要なのか、もう少しお分かりの範囲で教えていただくことができますか。何戸、何宅地くらいを分譲されたのか、いかがでしょうか。

(事務局)

- ・今、数は把握していなかったのですが、燕庁舎の周辺でたまたま面的に空いた所を不動産屋さんが入って開発したという実績がございます。我々の方も空き家対策を行っておりまして、不動産屋さんにも空き家対策協議会のメンバーに入ってもらい空き家の流通の観点から色々ご尽力いただいています。そういったことで色々な情報が入っていますので、今回の白山町のようなケースが出てきた場合には、市から補助金を用意しまして、空き家の撤去費、分譲に当たって土地を更地にしたり、燕は道路が狭いですので併せて道路を広げていただくといったことに対して補助を行う事業を進めさせていただいております、マスタープランに位置付けて定着させていきたいということでございます。

(樋口委員)

- ・非常に素晴らしい取り組みだと思います。
- ・本日手元に配っていただいた、都市計画マスタープラン中間とりまとめの12ページです。燕市は非常にコンパクトですが、用途地域の外側にはどうしても開発行為が滲みだしてしまう中に、産業用地はどうしても確保できない事情があると思いますが、住宅施設が25件もあり、やはりこれはコンパクトシティと若干逆行する部分があります。ですが、優良な宅地を市民の方が求めているのだとすると、白山町のような取り組みをより積極的に進められると燕市さんが目指しておられるコンパクトなまちに繋がるのではないかと思います。

(松川委員長)

- ・他いかがでしょうか。
- ・私から1点だけ。たぶん他の皆さまももしかしたら疑問に思っておられるかもしれませんが、現計画ではかなりの細かい地区に分かれて計画を作られたという中で、今回の地区別構想は3地区という形で大きく再編をされている。その理由というのが都市のコンパクト化により都市機能の集約を進める、中心拠点を核とした地区づくりを行うため、という理由で3地区に再編されているかと思うのですが、なかなか都市計画のことをよく分からない市民の方から見ると1つにまとめられちゃったと言いますか、地区を無視されてしまうようなネガティブな印象を与える可能性もあるのかなと懸念をしております。これについて何か市民の皆さんにご理解いただけるような内容で、ご説明いただく形は検討されておられるのでしょうか。

(事務局)

- ・地区の表示の仕方ということで、現計画の13地区の中には今までの地区それぞれで似たような内容が多く盛り込まれておりまして、そういったところを1つにまとめるといった意味もあります。先ほども触れさせていただきましたが、立地適正化計画や、市の建物関係の計画といった他の計画で地区を分けているものについては、これまでの旧市町の燕・吉田・分水の3地区として分けており、それぞれに拠点を持たせて基幹となる施設を配置してその地区における拠点化を図り、地区全体としてそれぞれの利便性を図るという形で計画が既に進んでいるところがありました。旧3市町の地区ごとで地区分けをした方が地区の住民の方もわかり易いのではないかとということで、3地区で検討を進めるといった形にさせていただきました。

(松川委員長)

- ・ありがとうございます。その辺のことは、計画が公表された時に市民の方が首を傾げられるようなことが無きにしても非ず、というところもありますので、細かいまちづくり協議会で色々ご議論いただいた内容を踏まえた上で、結果的には3地区という形に落ち着いて地区別構想に繋げていくというような形で感情を逆なでしないように作っていただけると非常に良いかなと思います。
- ・他いかがでございますでしょうか。次に吉田地区、分水地区と同じような話が続きますので、また燕地区のご意見を頂いても差し支えございませんので先に進めさせていただきたいと思います。

## ②吉田地区

事務局より配布資料「2.地区別構想(案)2-1地区別構想の概要、2-2燕地区」を説明。

(松川委員長)

- ・引き続き吉田地区の地区別構想につきまして、ご意見頂戴いたしたいと思います。いかがでございますでしょうか。

(小林副委員長)

- ・資料の 16 ページと 24 ページの人口世帯数の推移のグラフが分水地区と吉田地区で間違っていないかと思いましたがいかがでしたか。吉田地区は多分 2 万人くらい居ると思いますが、分水地区のデータですよ。
- ・吉田地区は燕の駅前と違いまして商店街がすごく沈んでいて、ここに若者と協働で盛り上げていくという案が提言として示されておりますが、唯一、活性化というか人を集めることができるのは吉田駅のみです。
- ・吉田駅は今のところ新潟～吉田間で越後線は多分存続はします。そうなつてきますと、吉田駅と北吉田駅と 2 か所ありますが、通勤通学客が朝晩必ず人が集まります。そうした時に吉田駅を中心にコンパクトに、そこに商業施設なり人が賑わう施設なり集約させてしまうという構想も 1 つあるのかなと思っております。
- ・いま吉田商工会女性部の部長が、駅周辺のどこかに女性部のサテライトショップを作りたいと言っております、実は女性部の商店さんはこの上町、中町、下町にはほとんどなくて、ちょっと郊外にあたりして、まちなかに無いお店です。でも駅周辺にその人たちのサテライトショップを持つてくることで吉田地区の商店を少しでも知ってもらい、やっていることを見せたいという事をすぐにでもやりたいとおっしゃっていました。そういうことも考えて、吉田駅を一つのポイントとして案の中に入れていただけたらなと思えました。
- ・長善館、香林堂さんの 2 つは本当に地域に根差した、吉田地区で唯一の地域資源、歴史資源だと思っております。特に香林堂さんは重要文化財にでも挙げられそうなものですので、強く推したい所です。

(事務局)

- ・ご意見ありがとうございます。まず、吉田駅の賑わいということで、地区別構想の中でも吉田駅周辺という表現になっていますが、重要な拠点として位置づけて計画を進めていく考えです。吉田駅の周りもぽつぽつと空き地やビルの空き店舗が多いような状況がありますので、そういったところも改善して計画を進めていきたいと思っております。
- ・同様に長善館や香林堂さんの関係も地区別の方針の中に書かせていただいて、表記をもう少し深掘りして書けることがあるのかといった検討もさせていただきたいと思っております。

(事務局) 課長

- ・16 ページと 24 ページのグラフの件ですが、吉田地区と分水地区が逆でございましたので、訂正させていただきます。

(松川委員長)

- ・他いかがでございますでしょうか。
- ・私から引き続き。駅の話が出ましたけれども、最近テレビや新聞でも JR の赤字路線についてかなりセンセーショナルな形で報道されています。吉田地区は越後線と弥彦線の両方が来ていて、それを結節するのが吉田駅ということで、鉄道事業者への働きかけや沿線利用者の減少を食い止めるような方策はすでにやられているかと思っておりますが、そういったこ

とは今回の構想のどの辺りになるでしょうか。

(事務局)

- ・全体構想に交通の関係の項目がございますので、その中に鉄道事業者等へ要請、働きかけをしていくといった内容を整理しております。44 ページから 45 ページにかけて、鉄道交通の方針として、「上越新幹線をはじめとする JR 越後線・弥彦線は通勤通学者や高齢者にとって重要な交通機関であることから関係機関に対して運行本数の増加や利用しやすい車両施設の導入改良を要望します」と書いてあります。全体構想の検討中は最近の鉄道の存続に関する話が出ていなかったのも、それを踏まえた書きぶりも検討させていただきたいと思います。

### ③分水地区

事務局より配布資料「2. 地区別構想（案）2-1 地区別構想の概要、2-2 燕地区」を説明。

(松川委員長)

- ・では最後の分水地区の地区別構想につきまして、ご意見よろしくお願い致します。

(本田委員)

- ・分水地区は今ご説明があったとおり、他の地区と違って観光を重視した地区となっております。最近リニューアルオープンした道の駅「国上」もお陰様で好評で、たくさんの人に来ていただいております。キャンプをテーマに作られた道の駅ですので、燕地区・吉田地区の金属加工で作られたキャンプ用品などの販売や、燕三条系のラーメンもあって色々な地区の方達にご案内できる状況になっております。
- ・そういう事を踏まえて言いますと、他の地区と一緒に駅周辺の商店街はほとんど活動できていないのではないかと、言うくらい寂れた状況になっております。そんな中でも本町と諏訪町辺りの役員の人達は色々な行事を考えて人集めを一生懸命していますが、なかなか外の人を呼び込むまでの事ができなくて、地区だけで楽しむお楽しみ会で終わっているような感じがします。もう少し大きい範囲で、せつかくある資源を皆様に広めていけたら良いのになと思いました。
- ・先ほどの鉄道の話もひっくり返して話しますと、吉田まではきっと越後線は通るんだろうな、その先の分水はもう近々無くなってしまわないか、という心配の声を周りで聞くことが結構あります。そうなったときのための分水地区から吉田地区、燕地区へ出ていくための交通網は、きららん号などを充実させてもらえるような方法をとってもらえたら有難いと思います。

(事務局)

- ・ご意見ありがとうございます。観光が中心となる地区という事は地区別構想の中でも多く盛り込まれていると思います。駅周辺については、確かに他の 2 地区に比べて賑わいが少なくなっているかな、ということで課題の方でも賑わいをもっと増やすことについて整理しております。その辺りの書きぶりについても検討させていただきたいと思います。

- ・鉄道についても現段階での検討が必要かとは思いますが、基本的には鉄道は重要な交通手段なので継続する方向で検討を進めるべきだと思います。実際に交通に困ることが無いようにすることが大前提なので、その辺りの書きぶりも検討させていただきたいと思います。

(事務局) 課長

- ・貴重なご意見ありがとうございました。分水地区、本町、諏訪町の中心部について懸念されてのことだと思いますが、燕地区や吉田地区におきましても色々と中心市街地の課題について取り組んでおります。宮町商店街の方ではモデル事業を始めておりますし、吉田地区では有志の方が「いち」をきっかけに色々なイベントを企画する等の取り組みをしています。そういった取り組みが進んでおりますので、確実にものにしていく中で、分水地区もそういった方と連携を取りながら中心市街地の活性化に繋がっていけばいいかと、都市計画の方としても考えております。
- ・鉄道の問題については、色々と新聞等で報道されておまして、大変心配をかけている状況ですが、今の段階では JR から直ちに廃止という話は聞いておりません。ただ、人口が減っている段階ですので、いずれはそういう問題に直面するということも否定できない状況になっております。存続させるにはどうしても利用者を確保していく事になりますが、なかなか特効薬が無いという状況です。マスタープランの方にも載せてあるように、まちなかの居住を進めるとか色々とまちなかの活性化の取り組みを地道に進めていく中で少しでも利用者の確保に努めていくことが重要であると考えております。

(山崎委員)

- ・観光協会の会長をしておまして、鈴木市長の後援会長でもございます。普通はそういうリレーションですと市長に、こうしてくれと言うわけですが、私は一つも言ったことがありません。ただし、産業界隈の商工会議所や工業組合では鈴木市長に陳情をお願いしていると思います。そこで何を言いたいかというと、今日の資料を見て、素晴らしい構想だと思いました。計画ではあと何年後とありますが、私ももう 82 歳になりましてそこまで生きていられませんけれども、市の職員さんが一生懸命やってここまで作ったことを是非前向きに実行してもらいたい。
- ・私は 30 代のころから日本にあまりいない男でございまして、アメリカに会社を作ってヤマザキブランドを全米に作っていましたが、残念ながら中国の追い上げで今はデザインとアメリカのマーケティングは日本でやって、アウトソーシングは一部を中国でやっているというのがあります。世界中を歩いてみて、例えばドイツを見ますと金融はフランクフルト、商業はハンブルク、日用品はゾーリンゲン。そういったまちづくりをコンパクトで良いから燕でもやれないかと、観光協会も取り組んでおります。
- ・あと旧燕市の観光と言ったら、これだけは市長に申し上げているのですが、産業観光をレコメンドしておまして、いま観光協会の事務局に県外から若い人がものづくりでのごく来ております。コロナで減ったかと思ったらそうでもありません。このように、やりかたによって色々なエリアでやれることがある。特に、燕三条はものづくりで世界に認められています。私も商工会長のときに通産省に世界のマーケットに対する輸入制限の交渉のや

り方が日本は下手じゃないかと言ったことがあります。そういう事も燕から我々がやるべきではないかと考えております。したがって、昔のように日本で作ったものを問屋さんや商社を通して海外に売るのはではなく、そういう時代でなくて、良いものを高く売る、デザインにしてもヒストリーをその中に入れて売らざるべきではないかと考えております。イギリスに我々が付き合っている高級ブランドがありますが、私どもは100%日本で作ってブランドを向こうで売っています。我々の残念なこととして、自動車だったら左ハンドルと右ハンドルの違い、カメラはどこでも同じですが、スプーン・フォークになると国によってサイズが全部違います。我々のカトラリー、スプーンやフォーク、ナイフを全世界で統一できないか、とヨーロッパで持ちかけたことがあります。残念ながらできないということでした。ここにおられる藤田さんのナイフも素晴らしいです。燕には工場と素晴らしい技術があるので、こういうことを発信していきたいと思っております。

- ・しかしよくできている計画だと、市の職員さんに感謝したいと思っております。燕、吉田、分水が合併してこういうものを作っていかなければなりません。今日先生が来ていらっしゃる長岡技術科学大学は、商工会議所の会頭、副会頭も卒業しています。そして新潟工科大学も私の知り合いが理事長と友達でしたりするので、産学一緒になって燕を何とかする、皆さんと一緒になるチャンスをもらって、歳をとったなんて言っていられない気持ちになります。
- ・先ほどの小林さんのスピーチもすごく良かったと思っております。県に行くとも燕は素晴らしい動きをしていると褒められます。こういったことを是非またやっていきたいと思っております。

(事務局)

- ・貴重なご意見ありがとうございます。庁内の方でも各担当部署と構想について話し合いを行って作成しております。また、市長にも内容を確認していただいた形で構想をお示ししておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

(松川委員長)

- ・ありがとうございます。他いかがでございますでしょうか。前回は委員会が開けなかったという経緯もございますので、是非それぞれのお立場から一言頂戴できればと思っております。まだご発言いただいていない方、いかがでしょうか。

(田邊委員)

- ・山崎委員さんから素晴らしい計画になったというお話がございましたが、私も同感です。
- ・4月25日に自治会協議会の総会がありました。そこで鈴木市長さんが令和4年の施政方針演説をされた時に自治会の方から労災病院のところの中之口川に橋を架けて繋いでもらいたいというお声が出ました。これは国の予算が無いとなかなか実現しないと思っております。特に佐渡、小高の集落の自治会長さんから燕西地区の方はだいぶ開けているけれど、県央基幹病院ができると労災病院はだんだん衰退していくのではないかとのお声がありました。高波部長さんも出席されていたと思っておりますが、将来あそこに一つは橋を架けるように陳情していただきたいことをマスタープランにしていきたいと思います。



(事務局)

- ・ご意見ありがとうございました。今のご意見については、持ち帰って検討させていただきたいと思います。地域の西、東というお話がありました。地域のそれぞれの発展と言いますか、開発のバランスが取れていないという事は問題だと思いますし、そういった点を懸念されて今の橋梁の話になったと考えております。そういった点も持ち帰らせていただきます。ここですぐに橋を架けるとは言えませんが、そういった事情を踏まえて検討したいと思います。

(松川委員長)

- ・ありがとうございます。他いかがでございますでしょうか。全体を通してよろしいでしょうか。前々回の会議ではオブザーバーの方から広域的な視点でお話を頂いてましたので、もし何かございましたらご意見を頂戴したいと思います。

(佐藤委員)

- ・今日、委員の皆さんから色々、特に地域の様々な課題や問題についてお話を聞かせていただいて、大変参考になりました。農業振興の立場から話をさせていただきますが、燕市はほ場整備もかなり進んでいて、かなり優良農地が多いということでもあります。そういった農業振興の観点から園芸のブランド化ですとか、そういったところを農業政策として進めていただいて、耕作放棄地の発生を抑制していただきたいです。
- ・併せて特に燕地区は農業と工業のバランスの取れた発展を進めていく必要があると思います。そういったところでも優良農地と工業用地との線引きをしっかりとしながら、計画的な土地利用をしていただきたいと思います。

(上村委員)

- ・今日、色々とお話を聞かせていただいて、私共の方ではいま国道 289 号の燕北バイパスや主要地方道燕分水線の道路整備、あるいは通学路を中心とした歩道の整備等を実施しております。その整備が進むことがこの都市計画マスタープランの方針を後押ししていくということを感じましたので、私どもの事業を着実に進めていきたいと思っております。
- ・また、新たな道路整備、歩道整備等を是非ともそれぞれの地域のまちづくりの中で活かしていただいて、活性化まちづくりを進めるというところに繋げていただければと思っております。
- ・それと、国道 289 号の八十里越の関係で 3 地区とも非常に観光を中心とした広域連携に期待があるということを確認させていただきました。昨年度に国の方からあと 5 年程度で開通させると公表されました。1 年経ちましたのであと 4 年です。いま、国、私ども新潟県と福島県で連携をして 4 年後に向けて道路整備を実施しております。4 年後には福島県只見町と国道 289 号で繋がる予定でおりますので、またその辺もこの方針の中にもありますが、是非とも新たな流れを活かしていただけるようお願いをしたいと思います。
- ・私どもの方でも色々進捗状況等、福島県との連携状況等、八十里越周辺の整備状況等、情報提供させて頂きたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

(横山委員)

- ・先程の鉄道の話や交通インフラの話が色々出ていますが、現実的に申し上げると少子高齢化がこれからますます進むと思います。最近私もウォーキングをしているので、老若男女問わず高齢者の方も歩いている方が非常に多く感じます。年々増えているように思いますが、ビジョン吉田がいま休んでいるので違う施設に行ってトレーニングしたり、健康に気を遣っている方が非常に多く感じます。いまは人生 100 年時代と言われていいますので、80 歳過ぎまでは健康年齢を非常に意識して活動されている方が多いような気がします。
- ・そういう意味で、先ほどの地区別構想にあったような、過度に自動車に依存しない都市交通、現実的にはきららん号とかそういったものを充実させれば、先ほどのお話があったように、将来鉄道が廃止になったとしても 3 地区とも同じことだと思いますが、ウォーキングしながら色々な場所を行き交うように鉄道やバスの接続をますます充実させて、高齢者の外出機会がますます増えれば健康に繋がりますから、歩道等の整備に力を入れたら良いと思っております。
- ・3 地区とももっと遊歩道や公園を整備して、コロナが終わったら終わった後、高齢者の方もいっぱい街に出て外出機会が増えれば賑わいの創出にも繋がるのではないかと思います。

(酒井委員)

- ・私ども農協は 4 月 1 日に合併して JA 新潟かがやきとして、分水が一番南になりますが、あとは阿賀町や福島県境まで一つの農協になって、今後も色々やっていくと思います。7 月 30 日には総代会をやってコロナ禍ですが前向きに進んでいます。
- ・その中で燕地区・吉田地区・分水地区それぞれ旧市町単位で、非常に特色があります。工業なり産業の地域と、分水は自然観光なり農業とか色々ありますが、先ほどもあったように駅前が寂れているという、人口が少なくなってきたのが一番寂しい、元気がなくなってきたように思います。産業界も農業界も後継者がだんだん少なくなってきた、今後どうなるのか心配になるところもあります。なかなか難しい問題ですが少子高齢化でなく若い人が増えるような政策を鈴木市長が頑張っておられるようですが、より強く田んぼとか特色ある農業を農業団体としても盛り上げていきたいと思っております。

(事務局)

- ・貴重なご意見ありがとうございました。オブザーバーの佐藤部長さんからは農業に関してご意見を頂きました。燕というと工業が一番という感じになりますが、農業も日本の食料を支える非常に重要な産業でございます。また、農業と工業の特に土地利用の面で調整を適切に図りながら取り組みを実施していきたいと考えております。また、そういった面をマスタープランに反映させていきたいと思っております。
- ・上村部長さんからは道路などのインフラ整備について、まちづくりに活かしてほしいとアドバイスいただきました。まさにその通りだと思っておりますので、こういったインフラができるチャンスを活かしていきたいと思っております。
- ・酒井様からは後継者の問題など色々ある中で若い人が多くなるようなまちづくりにしてほ

しいとの事でしたので、マスタープランの取り組みを総合的に本格的に進めていく中で市としても色々な人口増対策の取り組みを進めております。そういった取り組みで若い人が来るような元気なまちづくりになるように少しでも進めていきたいと思えます。

(小林副委員長)

- ・ 3 地区に共通している事ですが、住みたくなる魅力的な住環境づくりとあります。人の流れとして燕市は働き口が市内ではほぼ完結できる事を私たちは当たり前だと思っておりますが、他から見たらすごい事ではないかと最近よく思っております。というのも、吉田の商工会長がいつもその事を言っています。確かに、金融関係と公務員の方以外は通勤といってもほぼ車で5分、15分で行けます。それができるからこそ住環境としてもすごく整っているという事を入れていただけたら良いと思えました。

(松川委員長)

- ・ 都市計画でも職住近接という言葉がございます。事務局いかがでしょうか。

(事務局)

- ・ ありがとうございます。まさに我々も移住・定住策をやっておりますが、ご指摘の通り働いて収入が無ければそこに住むことができないというところもあります。そういったものをマスタープランの中にしっかり反映させていきたいと思っております。

(松川委員長)

- ・ ありがとうございます。若干時間が超過してしまいましたが以上で本日の策定委員会の協議事項をすべて終了とさせていただきます。議長のご任を解かせていただきまして、進行は事務局の方にお返しいたします。

#### 4. その他

(事務局)

- ・ 次回第5回策定委員会は、10月18日火曜日午後1時30分からの予定で、市役所の会議室で開催を予定しております。皆様ご都合を合わせてご参加いただければと思えます。また日程の方が詳しく固まりましたら開催案内文書を改めて送付させていただきますので、よろしく願いいたします。

#### 5. 閉会

(事務局)

- ・ それでは以上で第4回燕市都市計画マスタープラン策定委員会を終了させていただきます。皆さん長時間にわたりましてご議論いただき大変ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

以 上